

2015年12月25日

本社設計部門の一部を安曇野工場へ移管

本多通信工業は、中期経営計画“GC20”で掲げる業務用コネクタの顧客価値の倍増を目指し、2016年1月に、本社(品川区大崎)の設計部門の一部を、当社のマザー工場である安曇野工場へ移管します。

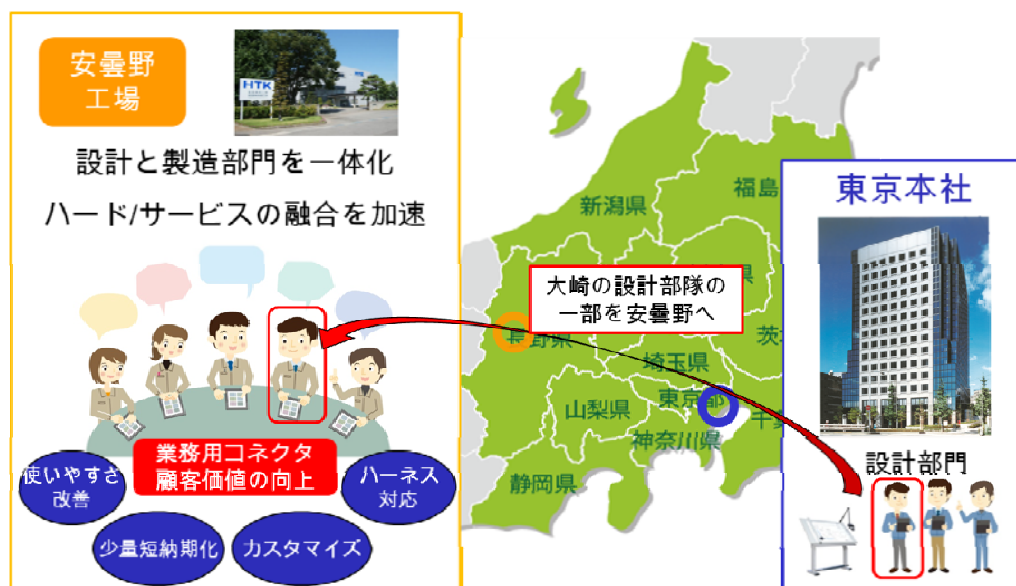
当社の業務用コネクタは、通信インフラ装置やFA機器、プロユースのハイエンド機器など、主にヘビーデューティな分野でご採用いただいています。当社は、設計部門と製造部門を一体化することにより、これらの分野で培われた“堅牢性”や“長期信頼性”などのハード面の特長に加え、“少量短納期/カスタマイズ/ハーネス加工”などのサービスを融合させることにより、顧客価値の向上を図ります。

具体的には、少量短納期サービスの拡充、カスタマイズ商品のスピード開発、ハーネス加工のワンストップサービスなどの早期実現に取り組みます。

当社は、IoTや高画質化などをキーワードに多様化する業務用コネクタへのニーズに、ハード・サービスの両面からお応えすることにより、新中期計画“GC20”を着実に進めてまいります。

■再編の概要

業務用コネクタの設計部門の一部を2016年1月に安曇野工場へ移管



◇本件のお問合せ先

本多通信工業株式会社 業務用コネクタ事業部 事業企画G TEL:03-6853-6400